

浅い長方形の箱

浅い長方形の箱の作り方は、6つのステップです。（拡大やスマホを横向きにすると見やすいです）

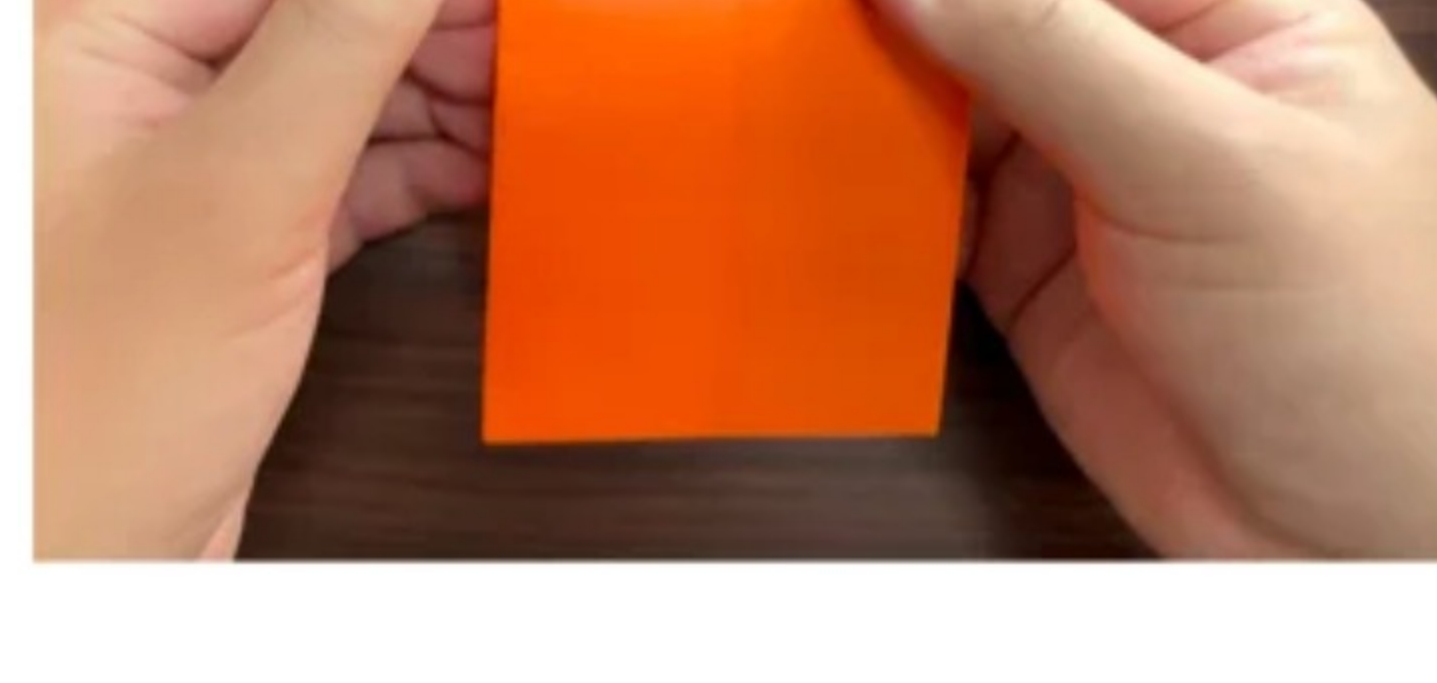
時間：10分

1. 正方形から長方形にする



ステップ1は、正方形の折り紙を長方形にします。はじめに、色付きの面を上向きにして半分に折ります。次に、中心にできた折り目に沿って半分に折ります。反対側も同じです。

2. 側面と底を作る準備



ステップ2は、側面と底を作る準備をします。1-4で折り畳んだ面を合わせて半分に折ります。さらに折り返して半分に折って、反対側も同じように折ります。

3. 側面を作る準備1



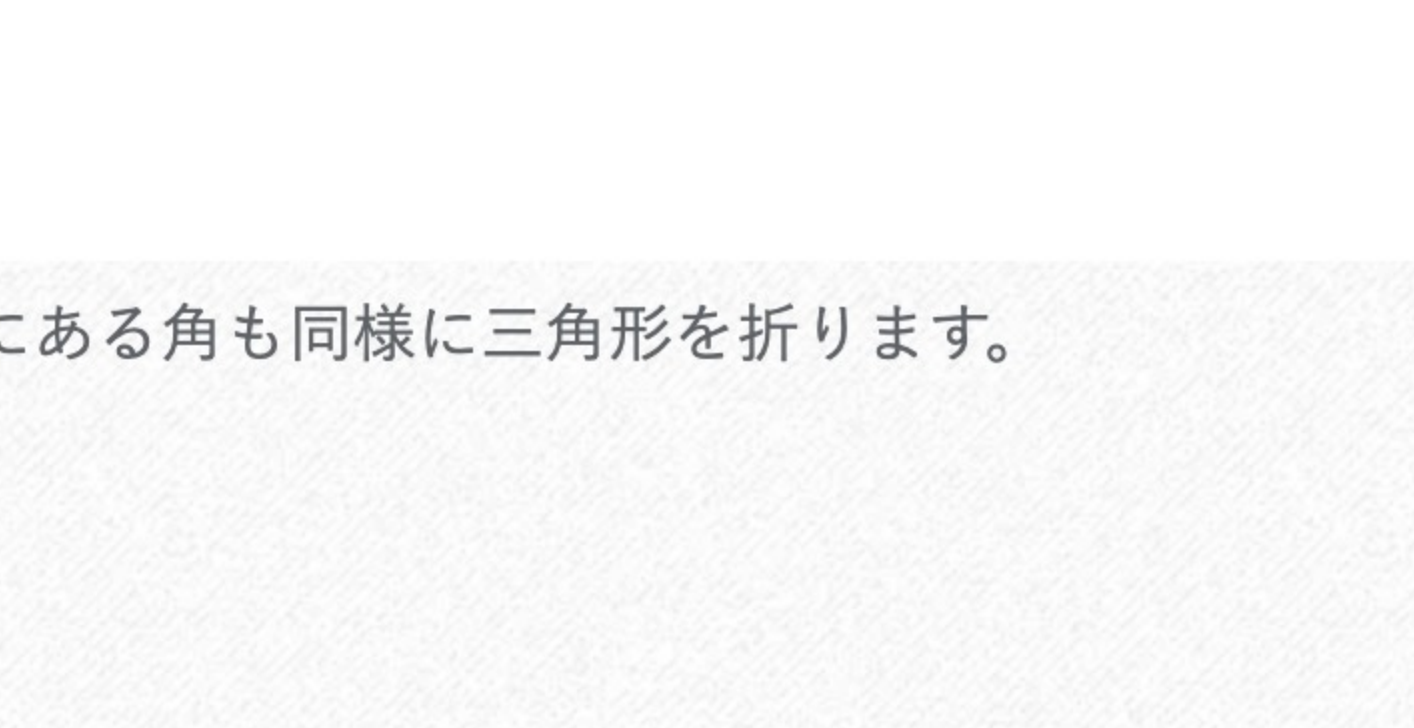
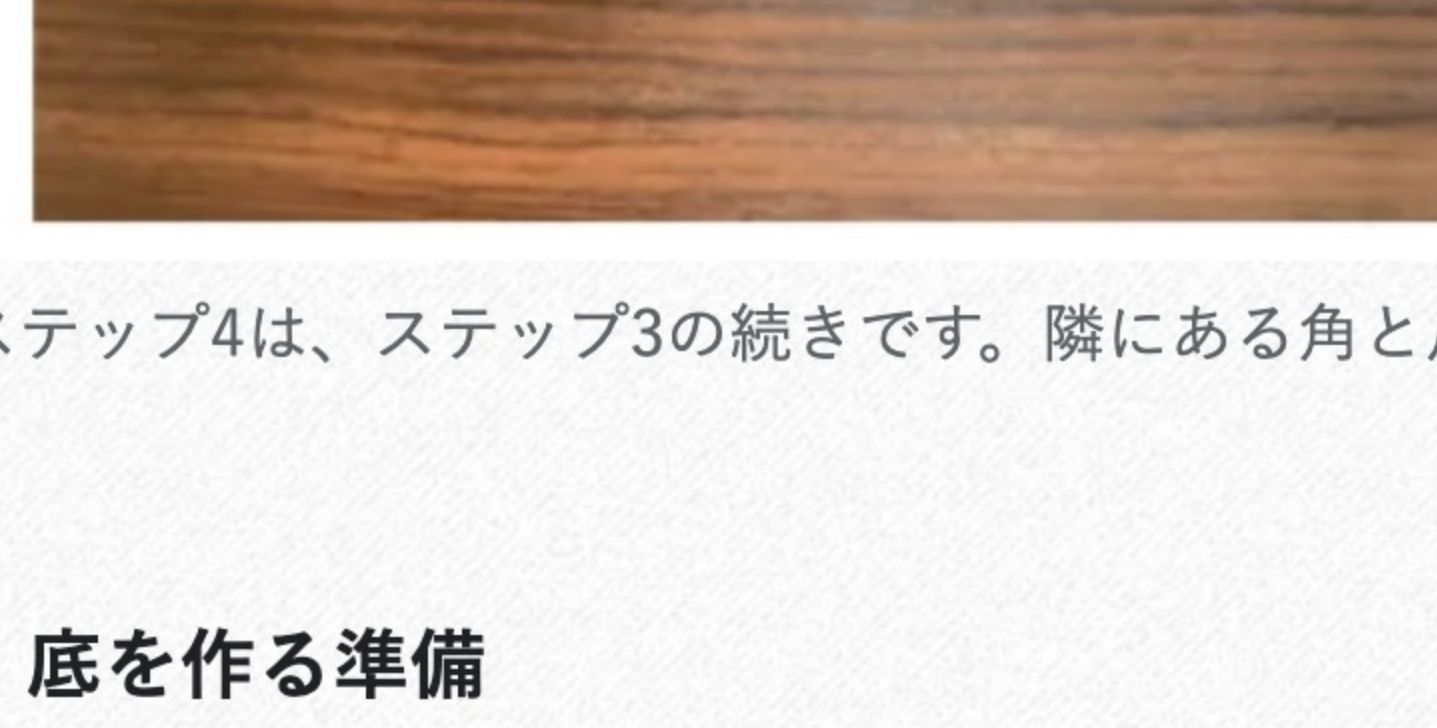
ステップ3は、側面を作る準備です。長辺を中心に半分に折ります。反対側も同様に折って、左右に2つずつできた4つの角を確認します。角の内側に指を入れて、三角形を作りましょう。

4. 側面を作る準備2



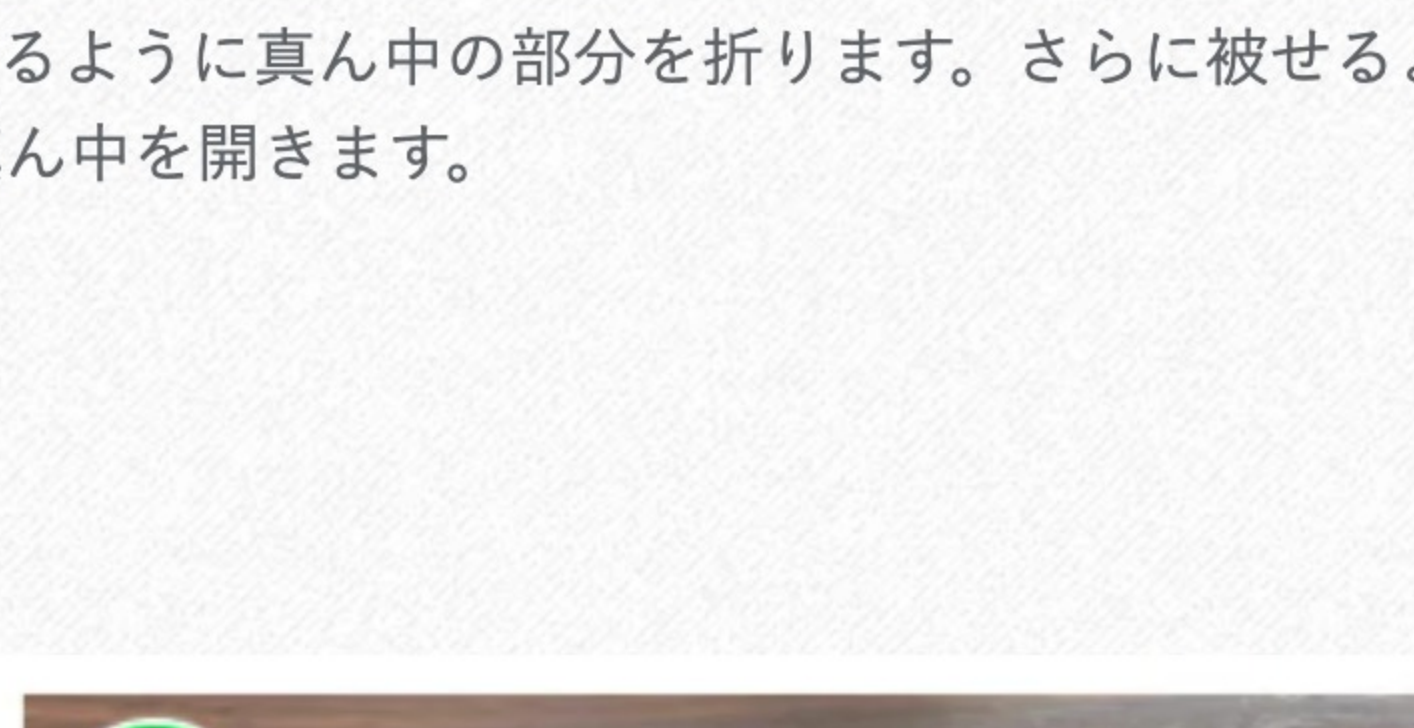
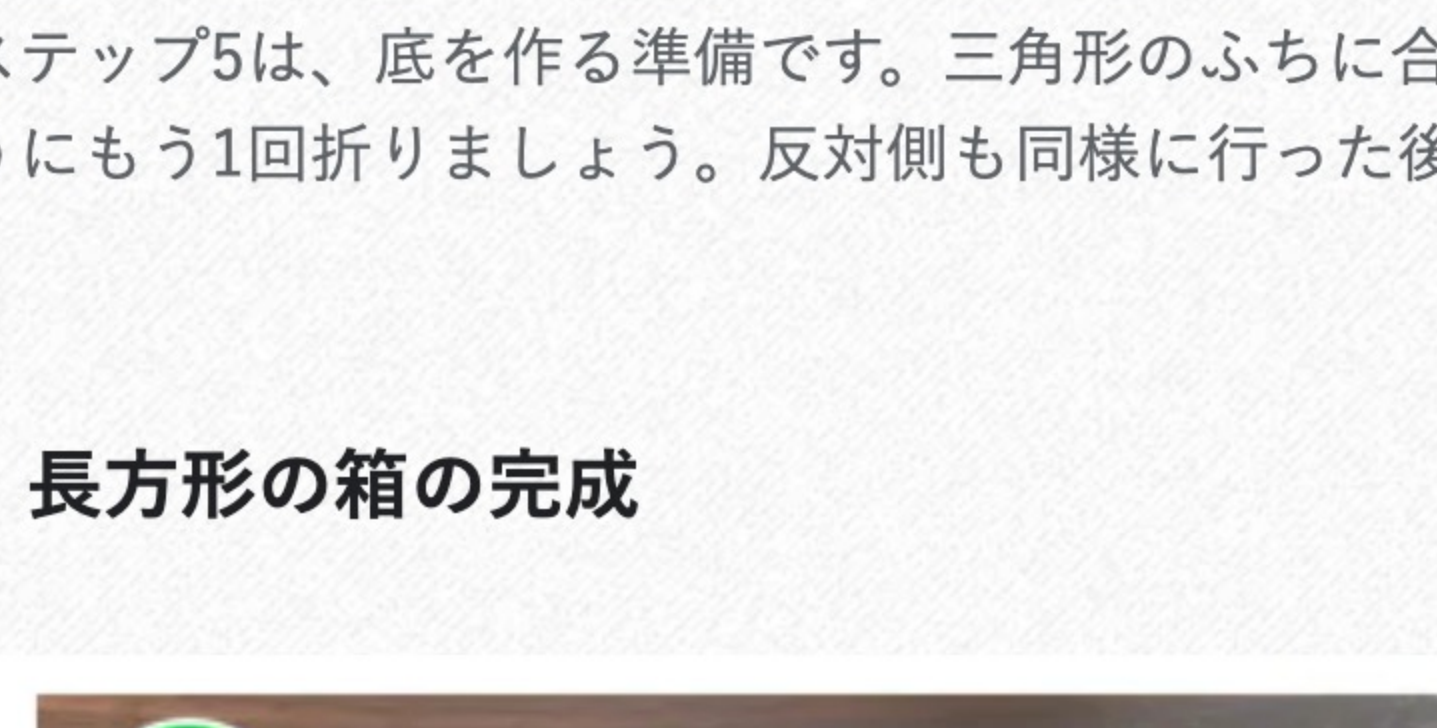
ステップ4は、ステップ3の続きです。隣にある角と反対にある角も同様に三角形を折ります。

5. 底を作る準備



ステップ5は、底を作る準備です。三角形のふちに合わせるように真ん中の部分を折ります。さらに被せるようにもう1回折りましょう。反対側も同様に行った後、真ん中を開きます。

6. 長方形の箱の完成



ステップ6で、完成です。箱の形になるように、側面を立ち上げます。側面のふちと角のふちが綺麗になるように折り目を整えましょう。

ふた付き



長方形のふた付きの箱

ふた付きの長方形の箱を作るには、同じサイズの折り紙を1枚追加で用紙してください。新しく用意した折り紙は、縦と横で1cmずつカットしましょう。

折り方のステップは全く同じで問題ありません。最初に作った箱の中にピッタリはまるはずですよ。

まとめ

最後に、この記事の要点を押さえました。

- ・折り紙は1枚が良い
- ・丈夫な長方形の箱は厚い紙を使うと簡単
- ・ふた付きの長方形の箱は折り紙が2枚必要

最後までお読み頂きまして、ありがとうございます。以上で、丈夫で浅い長方形の箱の作り方をご理解頂けたかと思えます。

この記事の折り方は、何度も半分に折るために分厚くなってしまいます。少しだけ力を入れたり、爪で細かい折り目を入れたりする場面が繊細ですが、初心者でも超簡単な部類の折り紙でした。まだ折ったことがない方は、気軽に試してみてくださいね。